

# 清和中便り

令和6年10月3日  
文責 校長 山本祥博

## 「喜び」「感謝」を届け、もらいました

猛暑の影響によるものでしょうか、例年より遅い彼岸花が清和の道を彩り、朝の肌寒さや実った稲穂とともに秋の訪れを感じさせてくれます。

10月を迎え、早いもので今年度も半分が過ぎました。まずは、保護者の皆様や地域の方々、本校職員の支えにより、大きな事故や災害等もなく生徒全員無事に過ごすことができたことをありがたく感じます。

さて、先日、3年生が社会福祉協議会を訪問し、福祉体験学習の一環として清和文楽所作踊りと野田空良さんによる三味線演奏を披露しました。観覧いただいた方も「目の保養になりました、とてもよかったです。エネルギーをもらいました。ありがとうございました。」や「自分も昔踊ってました。今も受け継がれていてとても嬉しいです。今度帯の結び方を教えてください。」「三味線がとて上手で驚きました。」など笑顔で温かい言葉をいただきました。演じた生徒も、「踊っている時、手拍子をしてもらったり、ありがたい感想をもらい嬉しかったです。来てよかったです。」と話していました。本校の特色である「清和文楽とともにある教育」で学んだことが、地域の方々の「笑顔」や「喜び」となり、その姿が自分たちの「喜び」や「感謝」につながる。まさに清和の地域教育力を生かした「学び」と中学生にできる「地域貢献」の融合でした。次は、12日の薪文楽です。



### 先生方も向上心を持って「挑戦」しています。

先日、数学の佐藤奈穂先生による研究授業を実施しました。「うさぎとかめ」の話を題材に、一次関数のグラフから「かくされた情報」を見つけ出し、ストーリーを考えるという内容で生徒の主体的な活動や学び合う姿もあり、他の教科の授業にも広げることができる授業でした。



また、今年度は研修の時間に、それぞれの先生が講師となり、「ミニ講話」を実施しています。9月には松村光洋先生が趣味である「読書」と「2つの絵を見て刑事裁判はどちらでしょう。」から始まった「裁判」についての講話、昨日は山下里美先生による「環境作り」の講話でした。皆さん、「バイオフィリア」ってご存じですか？このミニ講話でまた一つ新しい知識を得ることができました。

講話内容を何にするか、普段からアンテナを張り、講話材料を集め、短い時間で伝わるようにまとめる。何より先生方を前に話すという緊張感、。発表者は大変ですが、驚くこと、初めて知ることも多く、また、その先生の「人となり」を感じることが出来ます。これからどんな話を聞くことができるか楽しみです。

本校HPにもカラー写真で掲載しています。ぜひご覧ください。